

●コラム●

アサリは英語で何と言う？

英語辞書編集部

アサリは英語で何と言うのか、という質問が来ました。『ジーニアス英和辞典』では (short-neck) clam としていますが、littleneck としている文献もある、確かめてほしい、とのことでした。

編集委員の N 先生のほか、『ジーニアス英和大辞典』で専門語校閲をお願いした貝類の専門家 T 先生にもお訊きすることにします。

まず N 先生から。「国立環境研究所の EIC ネット、それから長崎県水産部ホームページでもアサリを short-neck clam と訳しています。問題はないと思いますが、ボンゴレのレシピの多くに short-neck clam ではなく littleneck clam が載っていることなど、気になる点もあります。」

T 先生から暫定的な回答が来ます。「アサリ *Ruditapes philippinarum* は、サハリン以南・日本全土・中国沿岸・台湾・フィリピンに分布します。英語名は Filipino venus です。アサリ属に属する種は、すべて ~ venus という英語名が付けられています。おそらく、アサリに littleneck clam もしくは short-neck clam を当てることは、正確にはどちらも間違いだと思われます。」

ところで、『平凡社大百科事典』「アサリ」の項では英語名を Japanese little neck としていますが、「ボンゴラ」の項を見るとイタリアでスパゲッティ・ボンゴレに使われるセイヨウアサリの学名は *Ruditapes decussata* とあり、これはアサリと同属です。ごく近い種だとはいえそうです。また venus を使った言い方は専門家以外ではまれであるようです。アサリはアメリカやイギリスに存在しない以上、セイヨウアサリを short-neck clam と言うことが確認されれば、厳密には別物でもごく近いものとしてこれを当てることも許容されるのではないかと考えていた矢先、T 先

生から詳しい調査結果が来ました。

「まず littleneck clam とは、北米の干潟の二枚貝で *Mercenaria* 属と *Protothaca* 属に属する複数種を指し、ホンビノスガイ (英名 (Texas) quahog, 別名 quahog littleneck) が代表のようです。ニューヨークでボンゴレに quahog が使われていることを確かめました。

次にセイヨウアサリは、現在の学名は *Venerupis decussata* で日本のアサリとは別属に分類され、標準英名は decussate venus, 分布は大ブリテン島から地中海にかけての干潟です。イタリア料理のパスタのボンゴレに使われるのはこの *V. decussata* が多いこと、short-neck clam という英語名が使われていることもわかりました。

short-neck clam とはこのセイヨウアサリのことで、すから、東アジアに分布するアサリの英語名としては、『平凡社大百科』の記述の通り、Japanese little neck がふさわしいと思います。」

Japanese little neck [littleneck, little-neck] の使用例がかなりあることはインターネットで確認できました。そのうえで N 先生と相談し、T 先生の結論に従って訂正することに決めました。ただし表記は Japanese littleneck とすることになりました。

以上が、来年度版の『ジーニアス英和辞典』「アサリ」の項で実施される小さな修正の背景です。こんなふうに、私たちの辞書はより正確な記述をめざして毎年少しずつ成長していきます。

ところで、short-neck clam のボンゴレは「(日本のものと)見た目は似ているが味はかなり違う」という内容のホームページがあったそうです。北米でボンゴレに使われる貝もアサリの仲間とは言えないようです。海外でボンゴレを食べた方、いかがでしたか。(T)